

児童相談所の設置及び旧板橋第三小学校跡地活用に係る区民説明会 概要

板橋区 子ども家庭部 児童相談所設置担当課

子ども家庭支援センター

政策経営部 資産活用課

1 説明会開催状況

(1) 開催日時

①平成 29 年 3 月 9 日（木） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分

②平成 29 年 3 月 11 日（土） 午前 10 時～午前 11 時

(2) 開催場所

本町集会所（板橋区本町 20－5 西澤ビル 1 F）

(3) 説明者

板橋区子ども家庭部子ども家庭支援センター所長

板橋区政策経営部技術担当部長

(4) 参加人数

①平成 29 年 3 月 9 日（木） 29 名

②平成 29 年 3 月 11 日（土） 4 名

2 内容

(1) 旧板橋第三小学校跡地活用について

(2) 児童相談所の設置場所・施設整備について

3 配付資料

「旧板橋第三小学校跡地活用について」（資料 1）

「児童相談所の設置場所・施設整備について」（資料 2）

4 質疑応答要旨

Q 1：児童相談所は、何階建てを想定していますか。

A 1：地域に調和するよう、2 階建て又は 3 階建程度を想定しています。（技術担当部長）

Q 2：児童相談所の職員数や規模は決まっていますか。

A 2：児童相談所は日中開設する施設で、職員数は 40 人程度を想定しています。一時保護所は 24 時間体制の施設で、職員数は 20～25 人程度を想定しています。現在、板橋区の子どもの一時保護件数は平均月 10 人程度ですので、25～30 人の保護が可能である施設規模を考えています。（子ども家庭支援センター所長）

Q 3：児童相談所が設置されることで、地域に迷惑がかかることはありますか。

A 3：夜間徘徊や非行のケースの場合、夜中に警察からの保護受入が考えられますので、近隣の迷惑にならないよう動線等に配慮してまいります。保護されたお子さんは、職員のも

と日課による生活をしますので、騒がしくなることはないと考えています。施設建設にあたっては、建物の窓の配置にも配慮してまいります。（子ども家庭支援センター所長）

Q 4：児童相談所の設置場所として、どのような理由で旧板橋第三小学校に決定しましたか。

A 4：区有地を中心とした複数個所の候補地について、設置場所の検討をしました。延床面積 2,000 m²程度の施設が建設可能であることや、「公共施設等の整備に関するマスタープラン」による計画に大きな影響を及ぼさないことなど、また子どもを預かる施設のため、病院や警察との距離、区役所との連携を考慮し、選定しました。（子ども家庭支援センター所長）

Q 5：児童相談所設置と旧板橋第三小学校跡地活用における全体の工期は決まっていますか。

A 5：30 年度以降、6～7 年間の工事を想定しています。今後、区の建て替え需要が多い状況を踏まえ、計画を具体化してまいります。（技術担当部長）

Q 6：工事車両の通行ルート及び安全に対する配慮について、どのように考えていますか。

A 6：体育館及びプールの解体設計にて、通行ルートの検討を行います。東側ルート、もしくは非常階段を撤去し西側ルート等、複数ルートの確保が考えられます。工事車両の出入りについては、送迎で通行者の多い時間を避ける等の時間設定を行い、工事を進めてまいります。（技術担当部長）

Q 7：今後、地域要望の聞き取りや、工事内容説明の予定はありますか。

A 7：現在、児童福祉法改正を受け、児童相談所設置後の体制・組織の検討を進めています。そのため、具体的に地域の方々に説明や相談をする機会として、解体設計後が適切と考えています。併せて、基本計画の策定時にも説明を行う予定です。（技術担当部長）

Q 8：工事期間が長期間に渡り、近隣住民に迷惑や被害が及ぶ可能性が高いが、土壌の歪みや家屋のひび等の実害に対し、周辺住民への補償や賠償を考えていますか。

A 8：前提として実害が発生しないよう配慮しますが、工事前後で状況を確認し、実害発生時には補償を行います。工事は長期間に渡りますが、工事の契約形態により解体工事と建設工事等、工事毎に対応を行う予定です。（技術担当部長）

Q 9：工事期間中の平成 30 年度・33 年度は双葉町氷川神社の本祭りにあたりますが、例年どおり開催できますか。

A 9：29 年度の解体設計で工事開始時期や工期、仮囲い範囲を決定し、30 年度初めより解体工事を予定しています。地域の大事な行事であり例年どおり使えることが望ましいと思われるため、最大限配慮できるよう検討してまいります。（技術担当部長）

Q10：校庭は、本町上町会、本町坂町会の一時集合場所に指定されていますが、工事期間中はどのようになりますか。

A10：仮囲いが出来ると校庭の広さは狭くなりますので、代替地の必要性について地域防災支援課と検討し、取り扱いが決まり次第お知らせします。また、工事期間は長く、工事内容も年度ごとに異なるため、周辺の状況も見ながら進めてまいります。（技術担当部長）

Q11：工事期間中、避難場所として、旧校舎は使用できますか。

A11：体育館・プールの解体及び児童相談所建設工事の期間中については、旧校舎のうち耐震に問題のない部分は、避難場所として使用できます。（技術担当部長）

Q12：資料1「＜検討にあたっての視点＞ウ防災機能」については、以前の地域の説明会での地域要望を反映したものと思われるが、児童相談所を作るうえでの配慮をどのように考えていますか。

A12：防災機能については、最終的に旧板橋第三小学校の跡地活用全体の中で、備蓄倉庫、集合場所、避難所等の防災機能をどのように持つ必要があるか検討します。児童相談所施設内に必要な機能であれば児童相談所内に、二期工事で建設する施設に必要であればその中に整備することも考えてまいります。また、周辺道路が狭く旧板橋第三小学校の用地を活用して欲しいとの要望があり検討してきたことから、今回の施設整備にあたり重要に考えています。（技術担当部長）

Q13：旧校舎部分の機能の移転先について、どのように考えていますか。

A13：児童相談所内に移転するのではなく、二期工事として、別に機能を確保することを検討しています。（技術担当部長）

Q14：いたばしボローニャ子ども絵本館の移転後、旧板橋第三小学校の施設管理をどのように考えていますか。

A14：施設管理を担っているいたばしボローニャ子ども絵本館の移転後の施設管理について、検討を行っているところです。今後、施設管理の考え方を告示していく予定です。（技術担当部長）

Q15：いたばしボローニャ子ども絵本館の移転後のスペースを、集会施設として利用することはできますか。

A15：移転までに検討し、空きスペースとするのではなく、有効活用ができるよう考えてまいります。（技術担当部長）

Q16：板橋第三小学校記念室及び稲荷台小学校記念室は広いスペースを占めていますが、写真はパソコンで閲覧でき、見学者は少ないようです。今後、記念室はどのような予定になっていますか。

A16：今後、校舎も解体を予定しているため、教育委員会と調整し、同窓会の方も含め、考えてまいります。（技術担当部長）

Q17：旧板橋第三小学校の跡地活用の検討にあたっての視点の「観光」はどのような機能を想定していますか。

A17：旧中山道には縁切榎等の観光資源がありますので、休憩できるような場所等を考えています。（技術担当部長）